

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公表番号】特表2005-523978(P2005-523978A)

【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-501469(P2004-501469)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/42 (2006.01)

C 0 8 F 14/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 2/42

C 0 8 F 14/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a) 安定性の遊離ニトロキシラジカル及び
- b) フェノール系抗酸化剤

を反応系に添加することを含む、塩化ビニル重合を連鎖停止する方法。

【請求項2】

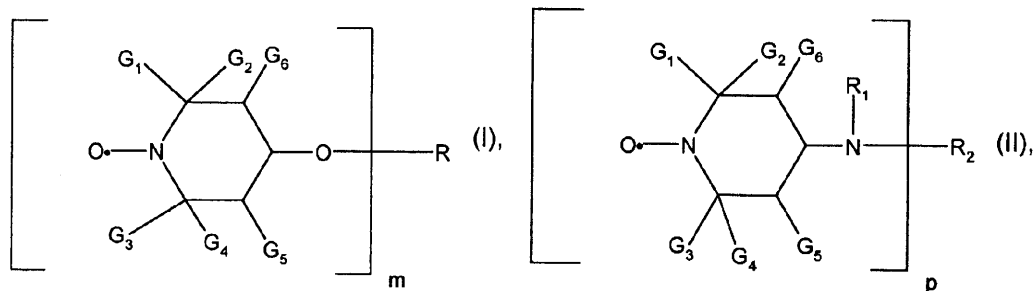
- a) 安定性の遊離ニトロキシラジカル、
- b) フェノール系抗酸化剤及び
- c) 塩化ビニル

を含む組成物。

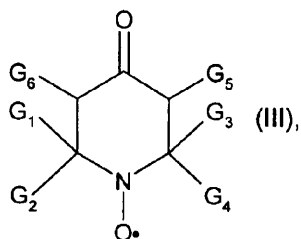
【請求項3】

式(I)、(II)、(III)、(IV)、(V)、(VI)、(VII)、(VIII)又は(IX)

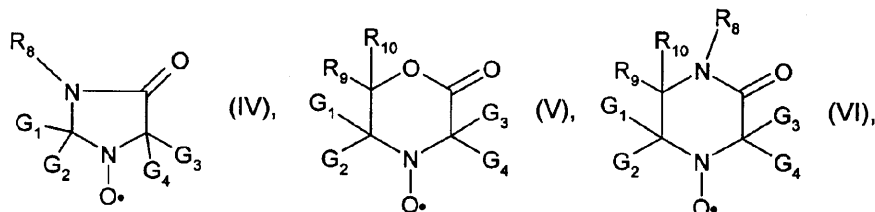
【化1】



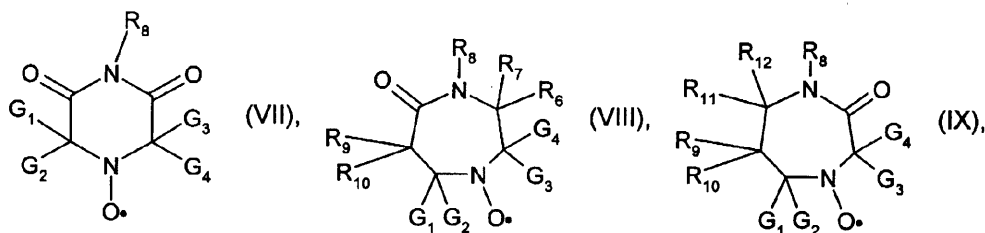
【化 2】



【化 3】



【化 4】



[式中、式中、 G_1 、 G_2 、 G_3 、 G_4 は、独立して炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表すか、或いは G_1 と G_2 又は G_3 と G_4 、又は G_1 と G_2 と G_3 と G_4 はペンタメチレン基を表し、但し、 G_1 ないし G_4 が炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表す場合には少なくとも 1 つはエチル基、プロピル基又はブチル基を表し；

G_5 、 G_6 は、独立して水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表し；

m が 1 である場合、 R は水素原子、中断されていない炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基或いは 1 個又はそれ以上の酸素原子により中断された炭素原子数 2 ないし 18 のアルキル基、シアノエチル基、ベンゾイル基、グリシジル基、炭素原子数 2 ないし 18 の脂肪族カルボン酸の 1 価基、炭素原子数 7 ないし 15 の脂環式カルボン酸の、又は炭素原子数 3 ないし 5 の、 $\text{C}=\text{C}$ - 不飽和カルボン酸の 1 価基又は炭素原子数 7 ないし 15 の芳香族カルボン酸の 1 価基を表すか；又は R はカルバミン酸又はリン原子含有酸の 1 価基又は 1 価シリル基を表し；

m が 2 である場合、 R は炭素原子数 2 ないし 12 のアルキレン基、炭素原子数 4 ないし 12 のアルケニレン基、キシリレン基、炭素原子数 2 ないし 36 の脂肪族ジカルボン酸の、又は炭素原子数 8 ないし 14 の脂環式又は芳香族ジカルボン酸の 2 価基、或いは炭素原子数 8 ないし 14 の脂肪族、脂環式又は芳香族ジカルバミン酸の 2 価基を表し；又は

R はリン原子含有酸の 2 価基又は 2 価シリル基を表し；

m が 3 である場合、 R は脂肪族、脂環式又は芳香族トリカルボン酸の 3 価基を表し；

m が 4 である場合、 R は脂肪族、脂環式又は芳香族テトラカルボン酸の 4 価基を表し；

p は 1 であり；

R_1 は炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基、炭素原子数 5 ないし 7 のシクロアルキル基又はベンゾイル基を表し；

R_2 は炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基、炭素原子数 5 ないし 7 のシクロアルキル基又は式 $-\text{CO}-Z$ (式中、 Z は水素原子、メチル基又はフェニル基を表す。) で表され

る基を表し；

R_5 、 R_6 及び R_7 は独立して水素原子、炭素原子数1ないし18のアルキル基又は炭素原子数6ないし10のアリール基を表し；

R_8 は水素原子、OH、炭素原子数1ないし18のアルキル基、炭素原子数3ないし18のアルケニル基、炭素原子数3ないし18のアルキニル基、1個又はそれ以上のOH、ハロゲン原子又は基-O-C(O)- R_5 により置換された炭素原子数1ないし18のアルキル基、炭素原子数3ないし18のアルケニル基、炭素原子数3ないし18のアルキニル基、少なくとも1個のO原子及び/又は NR_5 基により中断された炭素原子数2ないし18のアルキル基、炭素原子数3ないし12のシクロアルキル基又は炭素原子数6ないし10のアリール基、炭素原子数7ないし9のフェニルアルキル基、炭素原子数5ないし10のヘテロアリール基、-C(O)-(炭素原子数1ないし18のアルキル)基、-O-(炭素原子数1ないし18のアルキル)基又は-COO(炭素原子数1ないし18のアルキル)基を表し；及び

R_9 、 R_{10} 、 R_{11} 及び R_{12} は独立して水素原子、フェニル基又は炭素原子数1ないし18のアルキル基を表す。]で表される安定性の遊離ニトロキシラジカルを反応系に添加することを含む、塩化ビニル重合を連鎖停止する方法。